

平成20年度第2次新まちづくり計画事業進行調書(その1)

計画体系コード	4-3-2		事業名	消防力の充実に向けた消防体制の確立			
担当	消防局警防部消防救助課 會木 0133-62-4119						
全体計画							
事業内容	林野火災における空中消火をはじめ、山岳地での捜索・救助、重傷者の救急搬送、さらには消防活動の指揮を執るために必要な情報をヘリコプターテレビ電送システムにより映像送信するなど、特性を活かした多目的な活動を行う消防ヘリコプターであるが、整備期間中は災害対応が出来ない状況にある。 現有機の更新時期を早め現有機を予備機として活用することにより通年運航体制を確立し、整備期間中の出勤不能期間を解消する。			<年度別の事業内容>			
				【平成20年度】 消防ヘリコプター購入事業 【平成21年度以降】 実施予定なし			
事業内容・量・場所・規模・件数等	平成19年度事業内容(決算)			平成20年度事業内容(予算)			
	(空欄)			消防ヘリコプター 1機購入			
達成目標の状況							
項目		18年度末 (現状)	19年度末 (実績)	20年度末 (予定)	21年度末 (予定)	22年度末 (予定)	22年度末 (目標)
消防力の充実		-	-	推進	/	/	推進
市民・企業等との協働の状況(市民・企業等の参加、支援、協力の状況)							
市民との連携、市民参加 企業等との連携・協働 [資金協力] [人材協力] [情報協力] [その他の協力] 市民・企業等が参加しやすい環境づくり							

平成20年度第2次新まちづくり計画事業進行調書(その2) (単位:千円)

計画体系コード	4-3-2		事業名	消防力の充実にに向けた消防体制の確立			
評価(成果)			課題				
			予備機の使用限界、整備費等の増大など、費用対効果を見極めながら、通年運航体制を維持する必要がある。				
今後の事業の予定・方向							
<p>現有機の更新時期を早めたことにより、現有機を予備機として活用し長寿命化を図ることとしているが、機体の安全性を考慮しつつ、整備費や整備期間の増大など費用対効果を見極めながら、関係機関との連携を含めたさまざまな手法を検討し通年運航体制を継続していく。</p>							
事業費の推移							
項目		19年度	20年度	21年度	22年度	計	
計画	事業費	-	-	-	-	-	
	財源内訳	国・道支出金					
		市債					
		その他					
予算	事業費	0	1,220,000	-	-	1,220,000	
	財源内訳	国・道支出金	0	327,586			327,586
		市債	0	803,000			803,000
		その他	0	0			0
実績	事業費	0	-	-	-	0	
	財源内訳	国・道支出金	0				0
		市債	0				0
		その他	0				0
事業費の進捗率		(19年度実績事業費 + 20年度予算事業費) / (計画事業費)				-	
計画との差異(予算・事業内容・規模・時期等)							
(全体) 計画どおり実施 [19年度] [20年度]							